

令和 4 年 7 月 12 日
静岡県道路メンテナンス会議 事務局

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
静岡県 交通基盤部 道路局 道路整備課
中日本高速道路(株) 東京支社 静岡保全・サービスセンター

「道路の老朽化対策」パネル展を開催します ～道路施設を次世代に引き継ぐために～

1. 概要

道路の橋やトンネル等の道路施設の現状と、道路施設を長く安全に使うための定期的な点検や修繕の取り組みについて、地域の皆様にわかりやすくご紹介することを目的とした、「道路の老朽化対策」パネル展を開催いたします。

身近な吉田町で取り組んだ老朽化対策についてもあわせて紹介いたします。

2. 開催場所

●実施場所：吉田町役場 1F ロビーにて（榛原郡吉田町住吉 87 番地）

●実施時期：令和 4 年 7 月 17 日(日)～ 令和 4 年 7 月 29 日(金)

※詳細につきましては、下記問い合わせ先へ、ご確認頂きますようお願い致します。

3. 資料

別紙（パネル展の趣旨、展示パネル（一例）、「静岡県道路メンテナンス会議」とは）

4. 配布先

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ

5. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

副所長（技術・管理） 飯田 明弘

総括保全対策官 加藤 隆雄

電話（054）250-8908 E-mail cbr-s-koutai@mlit.go.jp

静岡国道事務所ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

静岡国道事務所公式ツイッター @mlit_shizukoku

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24 時間受付）

○パネル展の趣旨

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速に老朽化が進むことが確実で、その対策は喫緊の課題となっています。

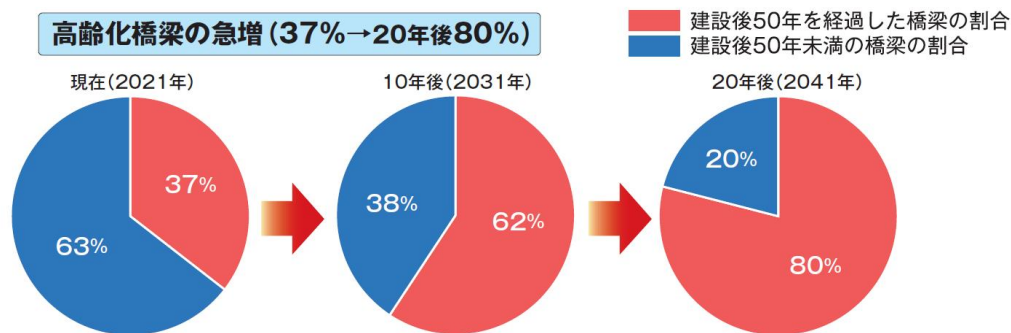
道路は、国民の財産であり、少しでも長く使えるように、定期的な点検と修繕に取り組み次世代へ引き継いでいくことが必要と考えています。

一方、多くの道路施設を管理する地方公共団体では、予算・人員・技術の面で課題を抱えています。

静岡県内の建設後50年を経過した橋梁の割合は、2022年1月現在で37%ですが、20年後には80%まで急激に増加することや、厳しい日本の環境条件などにより橋梁の損傷が進んでいる現状を紹介します。また、点検方法や損傷の事例、道路メンテナンス会議等で道路管理者が連携している状況も紹介します。

上記のような道路施設が置かれている状況や道路の老朽化対策の取り組みについて、広く皆様にご紹介するためパネル展を開催するものです。

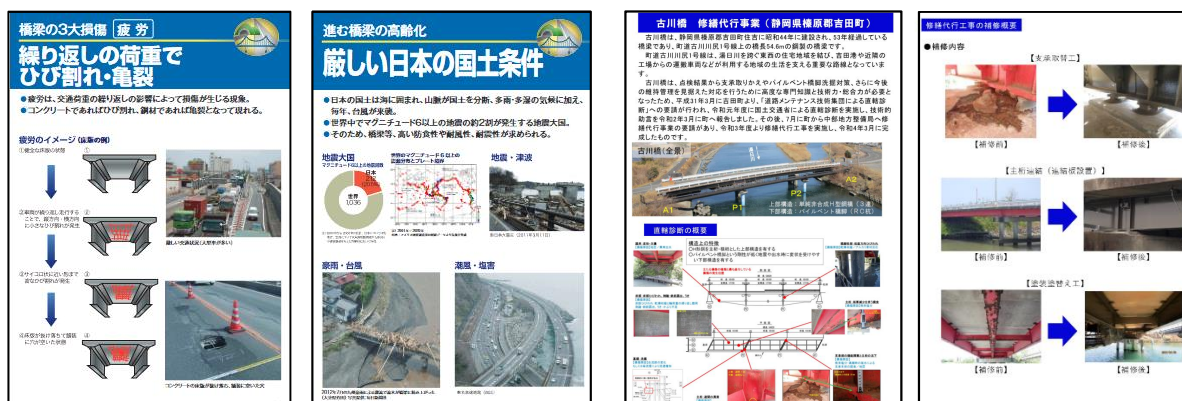
静岡県内の建設後50年を経過した橋梁の割合



※ 橋長2m以上、2022年1月末時点

○展示パネル（一例）

「道路の老朽化対策」パネル



「静岡県道路メンテナンス会議」とは

静岡県内における道路インフラの維持管理・補修・更新等を効果的・効率的に行うため、交通上密接な関連を有する道路管理者等が相互に意見調整・情報共有を行い、道路インフラの点検結果や修繕計画等について協力することにより、円滑な道路管理を促進し、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図ることを目的として平成26年度に設置されたものです。

【構成員】 中部地方整備局（道路部、直轄事務所）、地方公共団体（静岡県、35市町）、中日本高速道路(株)、静岡県道路公社